施策評価シート（令和７年度実績）

施策名　８　生涯を通じた主体的な健康づくりにつなげる

施策コード	020008

１．施策の体系と担当課

第5次総合計画	将来像	2 誰もが地域で健やかに ともに支え合うまち
主管課	健康福祉部　健康推進課	
関係課	健康福祉部　保険年金課	

２．施策の目標

10年後の目標

妊娠・出産・乳幼児期から高齢期に至るまで、生涯を通じて切れ目のない相談体制が確保され、すべての市民に適切な生活習慣が浸透しており、自ら主体的に健康づくりに取り組んでいます。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

〇健康に対する市民の意識を高めるため、食事や運動、喫煙などの生活習慣の改善に向けた啓発を行います。
〇妊娠・出産から就学前までの健康づくりについて、切れ目のない支援に取り組みます。
〇がん検診や国保特定健診等について、開催日や実施場所の充実など受診しやすさを高めるとともに、幅広い機会を通じた受診勧奨により、受診率を向上し疾病の早期発見につなげます。
〇歯科健診に対する意識啓発をし、受診を勧奨します。
〇予防接種に関する医療情勢の変化に対応し、正しい情報提供を早期に行い、予防接種や医療に対する知識を普及します。
〇感染症予防に対する啓発をし、集団感染などの情報提供を迅速に行うことで、防疫体制の充実を図ります。

市民・団体・事業所等の取組み

〇がん検診及び国保特定健診を積極的に受診します。
〇校区教室・市民講座などの研修会に積極的に参加し、健全な生活習慣、食習慣の知識を深め、実践します。
〇感染症の発生状況や予防手段についての情報を得ることで健康の維持に努めます。
〇食育の大切さを再認識し、栄養バランスのとれた食事の摂取に努めます。
〇公共性の高い施設や店舗等では、受動喫煙の健康被害防止に努めます。

３．施策を取り巻く状況

社会環境や法令等の変化

令和４年の人口動態統計（概数）では、我が国の出生数は７７０，７４７人で過去最少となり前年より４０，８７５人減少した。また合計特殊出生率は１．２６と過去最低で前年より０．０５ポイントの低下となっている。死亡数は１，５６８，９６１人で過去最多、自然増減数は７９８，２１４人と過去最大の減少で、一段と少子化・人口減が加速している。疾病では、令和２年に国内で発した新型コロナ感染症により、生活習慣病の基礎疾患がある者の重症化や、外出制限によるフレイルの増加が問題となっている。社会環境においては、行動制限の影響により、人とのつながりが希薄化する中で、子育て世帯において孤立化が進み、育児不安が増すことにより、安心して子どもを産み育てることができにくい状況となっている。

新たな市民ニーズ

妊産婦や子育て世帯を取り巻く環境の変化等を踏まえ、子育て支援の充実に加え、妊娠・出産に対する支援の充実を図るとともに、妊娠期・出産・子育て期に対する連続的支援を提供できる体制づくりが求められている。また、生活習慣病が招く様々な重症化を予防するために、特定健診・各種がん検診の受診率を向上させるべく、受診にあたっての利便の向上が求められている。

４．施策にかかるコスト

			単位	R6予算	R6決算	R7予算	R7決算	R8予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		19.52		18.41	
		会計年度任用職員数			1.77		1.75	
	人件費	直接人件費	千円		140,724		137,974	
		間接人件費			13,816		12,875	
	直接事業費			406,592	393,744	514,616	434,173	326,556
	間接事業費				1,177		2,279	
	フルコスト				549,461		587,301	
財源内訳	使用料及び手数料		千円	1,013	1,863	2,124	1,782	1,914
	国庫支出金			2,991	4,913	6,218	92,963	6,997
	府支出金			71,337	68,626	72,681	68,526	77,495
	市債							
	その他			2,318	5,688	2,918	3,034	2,853
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）				468,371		420,996	
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）			328,933	312,654	430,675	267,868	237,297

備考

５．施策の成果指標							
成果指標1		乳がん検診受診者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人	毎年度	2,500	増加	2,304	2,145	2,500	2,500
成果指標2		大腸がん検診受診者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人	毎年度	5,000	増加	4,489	4,276	5,000	5,000
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

６．施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和7年度実績）										
事務事業名	最重要指標		事業費 人件費				方向性		所見	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(見込)				
健康づくり啓発事業 （保険）	70歳未満加入者の循環器系疾患による入院に係る１人当たり診療費		20,916	23,586	21,857	27,903	成果	Ａ：向上を図る	未受診者への受診勧奨や周知方法を工夫し、受診率の向上を図る必要がある。	
	R7実績	633 千円								
	最終目標値に対する達成率	－	2,556	3,064	3,677	0	資源配分	Ｂ：現状維持		
特定健康診査等事業 （健推）	40歳～74歳の国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査を受けた人の割合（法定報告値見込み）		43,000	42,030	35,319	57,005	成果	簡易評価		
	R7実績	36.2 %								
	最終目標値に対する達成率	95.2%	23,104	27,669	27,496	0	資源配分			
保健事業 （健推）	健康手帳交付数、ハツラツ健診・さわやか健診・健康相談・健康教室の参加・受診者数・ウィッグ等補助申請数		2,693	1,949	2,485	7,440	成果	Ａ：向上を図る	健康教室等の充実を図り、参加者・受診者を増やすことで、より市民の健康意識を向上を図る必要がある。	
	R7実績	4,306 人								
	最終目標値に対する達成率	172.2%	2,709	10,387	8,039	0	資源配分	Ｂ：現状維持		
健康づくり事業 （健推）	健康づくり関係行事延参加者数		1,730	7,352	4,962	2,573	成果	Ａ：向上を図る	市民主体の健康づくりが推進されるよう、地域・関係団体と引き続き連携して関係行事に取り組む必要がある。	
	R7実績	1,713 人								
	最終目標値に対する達成率	95.1%	6,242	9,708	13,440	0	資源配分	Ｂ：現状維持		
母子健康管理事業 （子ど）	妊婦・乳児健診受診者の合計		67,543	64,352	60,408	0	成果	Ａ：向上を図る	今後も積極的な啓発活動等により、妊婦・乳児健診の受診率向上を図り、妊婦・乳児の健康増進に寄与する必要あり。	
	R7実績	6,302 人								
	最終目標値に対する達成率	－	14,928	29,445	28,681	0	資源配分	Ａ：資源を拡大		
母子健全育成事業 （子ど）	各種教室等参加者数及び家庭訪問のべ人数		20,640	19,375	18,324	0	成果	Ａ：向上を図る	各種講習会等により男女を問わず妊娠・出産・育児について学び、ともに子育てする意識の促進を図る必要がある。	
	R7実績	1,843 人								
	最終目標値に対する達成率	141.7%	20,713	25,841	21,331	0	資源配分	Ｂ：現状維持		
栄養改善事業 （健推）	事業活動参加会員のべ人数		254	243	153	177	成果	Ａ：向上を図る	食育活動の中心となる食生活改善推進協議会の活動を支援し、地域における食育活動の推進を図る必要がある。	
	R7実績	439 人								
	最終目標値に対する達成率	14.6%	3,843	6,675	4,437	0	資源配分	Ｂ：現状維持		

予防接種事業 （健推）	予防接種の接種者総数		201,162	95,696	105,589	126,151	成果	A：向上を図る	接種率の向上のため、接種によるメリット・デメリットについて丁寧な周知啓発を図る必要がある。
	R7実績	15,363 人							
	最終目標値に対する達成率	66.8%	10,732	9,305	10,531	0	資源配分	B：現状維持	
各種検診等予防事業 （健推）	各種検診等受診者数		80,251	85,040	84,991	89,809	成果	A：向上を図る	各種健診の受診率を上げるための工夫をし、市民の健康寿命の延伸を図る必要がある。
	R7実績	18,119 人							
	最終目標値に対する達成率	90.5%	9,333	13,892	13,083	0	資源配分	B：現状維持	
狂犬病予防事業 （健推）	狂犬病予防接種件数		955	2,543	2,635	3,440	成果	A：向上を図る	接種率向上のため、市民への啓発を行うとともに、接種の利便性を図ることが必要である。
	R7実績	2,949 頭							
	最終目標値に対する達成率	98.3%	1,149	2,218	3,077	0	資源配分	B：現状維持	
がん検診推進事業 （健推）	検診受診者数		7,454	6,760	7,342	8,309	成果	A：向上を図る	さらなる受診率の向上に向け、効率的・効果的な受診勧奨を行う必要がある。
	R7実績	143 人							
	最終目標値に対する達成率	47.6%	5,550	3,830	6,921	0	資源配分	B：現状維持	
新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽﾜｸﾁﾝ接種事業 （健推）			0	2,801	46,230	3,749	成果	評価対象外	
	R7実績								
	最終目標値に対する達成率		8,055	7,981	5,654	0	資源配分		
産後ケア事業 （子ど）	利用施設数		1,411	1,668	3,172	0	成果	A：向上を図る	出産後のレスパイトケアだけでなく、産後うつや孤立育児の防止のためにも周知等制度のさらなる充実を図る必要がある。
	R7実績	6 箇所							
	最終目標値に対する達成率	－	1,781	5,824	4,063	0	資源配分	B：現状維持	
妊婦のための支援給付事業 （子ど）	妊産婦全戸訪問実施数		47,646	42,017	43,878	0	成果	B：現状維持	孤立育児等、相談先に困っている保護者に対し、行政からアプローチできる重要な制度であるため今後も継続が必要。
	R7実績	996 人							
	最終目標値に対する達成率	－	3,617	4,525	4,482	0	資源配分	B：現状維持	

７．施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	概ね達成している
構成事務事業に課題はないか	特になし
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	特になし

８．今後の方向性	
担当部長の所見	市民が生涯にわたり健康で生き生きと幸せに暮らせるよう、健康維持・増進に向けた意識啓発を行い、市民が自発的に健康づくりに取り組むよう行動変容につなげる。また、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる体制を整備する。
担当副市長の意見	市民が生涯にわたり健康で生き生きと幸せに暮らせるよう、健康維持・増進に向けた意識啓発を行い、市民が自発的に健康づくりに取り組むよう行動変容につなげる。また、妊娠、出産・子育てに加え、結婚についても行政で支援ができないか検討を行う。